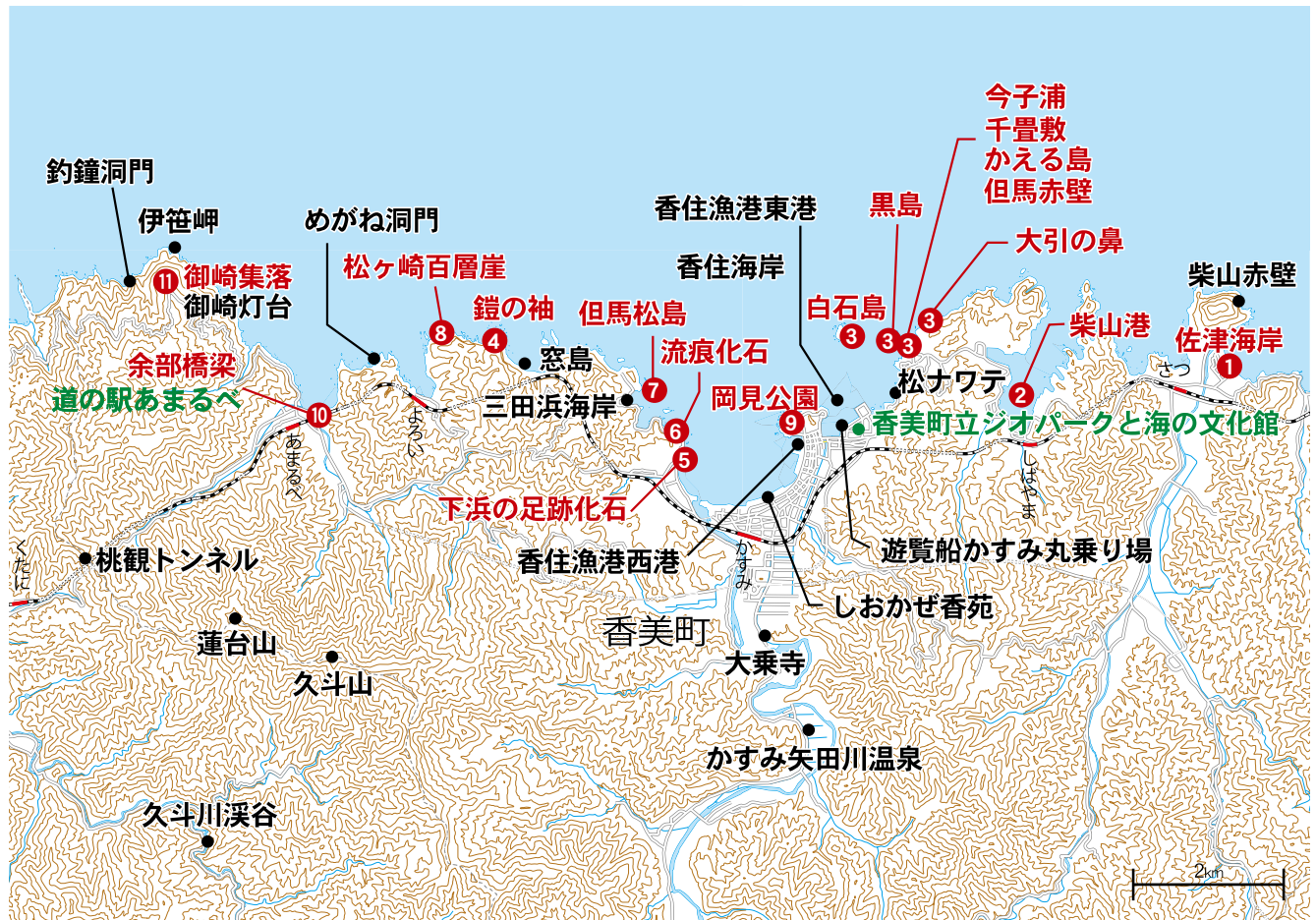


さ っ し ば や ま い ま ご う ら か す み か い が ん あ ま る べ
佐津／柴山／今子浦／香住海岸／余部
ジオサイトマップ



動物たちの集まった 太古の水辺のすがた

海岸にそって切り立った断崖に、日本海ができる時の火山岩や地層、そのあとに噴出したマグマなど、特に遊覧船からはさまざまな地質が見られます。また海岸の岩場には多くの動物の足跡化石や流痕など貴重な地質遺産が多数残されています。



エリア&ガイド情報



香美町立ジオパークと海の文化館

1階は山陰海岸ジオパークを学べるフロア。約2千万年前に大陸から離れ形成された日本列島をはじめ、香美町の地形や地質が育んだ風土や暮らし、食などを紹介しています。2階は海とともに発展してきた漁業のまち香住の「海の文化」を学べるフロア。北前船の歴史や伝統的な漁具、カニやイカ漁の様子などのほか、日本海に生息する魚類をはく製等により紹介しています。

〔所〕兵庫県美方郡香美町香住区境 1113 番地 〔料〕無料

〔休〕水曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始 〔時〕9～17時(入館は16時30分まで)

〔問〕0796-36-4671

23、佐津ジオサイト

佐津川が作る美しい渓谷沿いの集落と荒砂の浜 ～入り江にできた砂州に広がる集落のサイト～

さつ 佐津海岸

兵庫県美方郡香美町香住区訓谷 MAP P.48-①

香住海岸は谷が沈んでできたリアス海岸ですが、佐津海岸は、さらにその沈んだ谷に佐津川が上流から土砂を運んで砂洲を作ったものです。佐津海岸の浜は、砂より粒が粗い「礫^{れき}」でできていますので、波で砂や泥が巻き上げられません。このことが、海岸の透明度の高さの理由のひとつになっています。



24、柴山ジオサイト

リアス海岸の入り江に発達した松葉ガニ漁の拠点 ～リアス海岸の奥行きがある湾を利用した良港のサイト～

しばやまこう 柴山港

兵庫県美方郡香美町香住区沖浦 MAP P.48-②

柴山港の湾口は北に開き、奥行き約2km、幅500mの長方形であり、沖浦は湾に直行した入江です。湾の入り口には臼ヶ浦島があり、波浪時でも外海の影響を全く受けなため、古くから天然の良港と知られ、但馬海岸唯一の避難港として、現在も使われています。江戸時代には廻船（北前船）の風待ち港、寄港地として、幕府の丹生柴山御番所^{にゅうしばやまごばんしょ}が置かれるなど、海上交通の重要な役割を果たしてきました。

今はズワイガニ漁の重要な港となっており、特に柴山港で水揚げされたズワイガニは「柴山ガニ」としてブランド化されています。





名勝・香住海岸の東部に位置する風光明媚な海岸で、千畳敷と呼ばれる岩礁と白砂の砂浜が隣り合う入江で、沖には白石島と黒島が浮かびます。現在は港として利用されていませんが、海水浴やキャンプ、スポーツ、自然体験などができるレクリエーションゾーンとなっています。

■かえる島

溶岩が冷え固まってできた岩が日本海の激しい波で削られ、かえるのような形になったことから「かえる島」と呼ばれています。祈願岩としても知られ、昔、北前船（廻船）で航海に出た男たちが無事にこの地に帰る（カエル）ことを祈願したと言われてしています。それからは、無くした物が手元に返る、自分の性格を変えるなど、「何かをかえたい」といった願いがある時、この島に祈願するようになったそうです。



■千畳敷

今子浦海水浴場の隣の磯は、波によって岩肌が削り取られて平らになった波食棚^{はしょくだな}です。満潮時には海中に沈んでいますが、潮が引くと広々とした岩場が姿を現すことから「千畳敷」と呼ばれます。波食棚の部分は火砕流として流れ出た火山灰や岩石が固まったもので、大引の鼻やかえる島に見られる溶岩が冷え固まった岩とは種類が異なります。ここでは磯の動物や海藻の観察、魚釣りなどを楽しむことができます。岩に海藻が生える11月から翌春の期間は岩場では滑りやすく、注意が必要です。

■但馬赤壁

千畳敷の東、幅約100mにわたり屏風のような断崖が続いています。大陸から日本列島が離れ始める頃の活発な火山活動でできた溶岩が、荒波に削られ、このような絶壁になりました。夕陽に照らされると、崖が赤く染まり、まさに赤壁そのものとなります。



■大引の鼻展望台

今子浦の北端にある展望台は、溶岩が冷え固まってできた岩石からなる岬です。遊歩道の途中の岩壁には縦方向に伸びた割れ目（柱状節理^{ちゅうじょうせつり}）がきれいに見られます。展望台からは、東側に断層による峡谷や大引洞門、西側は黒島、白石島、三田浜や、遠くに国の天然記念物「鎧の袖」、平家の落人伝説で有名な御崎集落のある伊笹岬など、日本海一帯が眺望できる絶好の景観地です。「日本の夕陽百選」にも選ばれています。



■白石島^{しろいしじま}

白石島は、境浜より約1km離れた無人島で、火砕流が流れ出た岩石でできています。常緑照葉樹林ではスタジイが最も多く、タブノキ、ヤブニッケイ、ツバキ、モチノキが生育しています。また、落葉広葉樹ではエノキ、ムクノキ、ケヤキ、ハゼ等が多く、樹木の大きさは直径1.5mを超えるものもあります。北側には牛に似た岩や猿の顔面に似た顔もあり、遊覧船や大引の鼻展望台から見るができます。

■黒島

溶岩が冷え固まった岩石でできている小島で、白石島とは対照的に、クロマツが多く生育しています。北側には、朝日が差し込むと海面と洞門内が五色に輝く「五色洞門^{ごしきどうもん}」があり、遊覧船から見るができます。

ひとくも

●北前船繫留(けいりゅう)跡

江戸時代の大型廻船の指定寄港地であった柴山港よりも、今子浦のほうが風待ち港としては人気だったため、1672年、当時無人だった今子浦に、今子浦船番所が置かれました。千畳敷や南側の海岸遊歩道、離れ岩などに、廻船の繫留用の柱を挿すために削り取った穴や、網をくくるための「めぐり」と呼ばれる輪があちこちで見られます。船番所の初代は出石藩の武士・田嶋久右衛門で、当時の入出港の様子は『今子浦田嶋家祖先由来書』に記され、当時の繁栄を知る貴重な資料として当家に保管されています。



●波切不動

黒島の南側には、海上航行安全の護り神「不動本尊」が祀られています。建立者が明らかでなく、最初に今子浦に住み始めた田嶋家創設以前から安置されていたという言い伝えがあります。初代の不動本尊は風化していたため、昭和37年に境区が修理新調したものと合わせて今は2体が祀られ、海上安全の「お不動さん」として、海上安全を見守っています。遊覧船のほか、対岸にある遊歩道からも見るができます。



26、香住海岸ジオサイト

日本海拡大を記録する岩石海岸 ～景勝地が点在する岩石海岸を発表した港のサイト～

よるい そで
鎧の袖

兵庫県美方郡香美町香住区下浜 MAP P.48-④



ひとろめも

●遊覧船「かすみ丸」

三姉妹船長で有名な遊覧船。親子二代の船長が揃い、風光明媚な山陰海岸のジオ・クルージングへとガイド付きで案内します。山陰海岸ジオパークの中心に位置する香住海岸は、国の名勝にも指定され、四季を通じて美しく雄大な景色を望むことができます。

* 大人1,300円～3,000円、子ども650円～1,500円／始発9時30分、終発16時

(問) 遊覧船かすみ丸有限会社
TEL.0796-36-0571

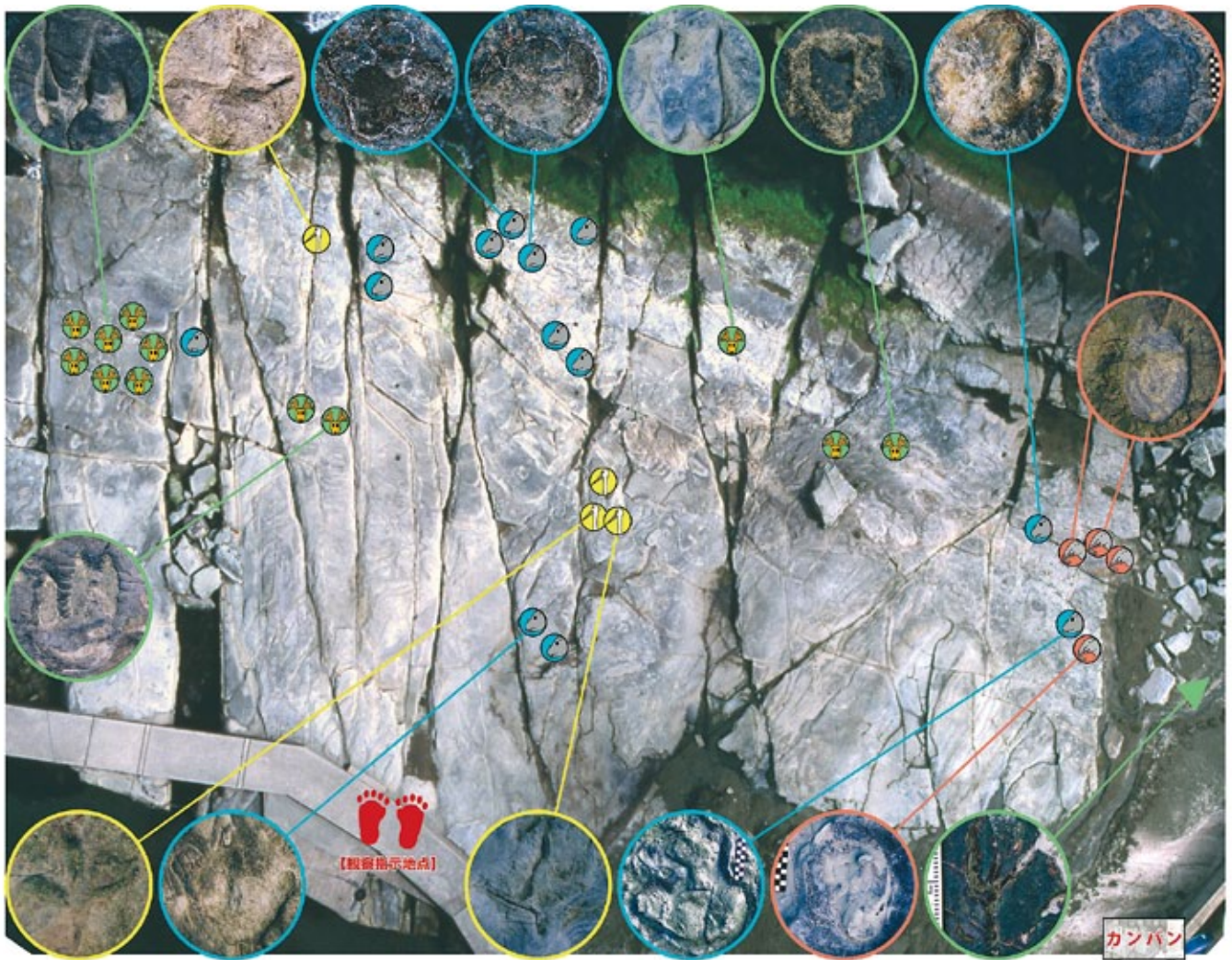


高さ65m、幅約200m 角度70度の大きな岩壁で、1938（昭和13）年に国の天然記念物に指定されました。日本海が形成された後、地下の地層中に入り込んだマグマが冷え固まる際にできた縦方向に伸びた割れ目と横方向に伸びた割れ目が垂直に交わり、鎧の「おどし」のように見えるために、「鎧の袖」と言われています。また、鎧の袖の延長線上にある「鷹の巣島」と「蜂の巣島」は、鎧の袖と同じ岩石が波によって削られてできた自然の彫刻作品です。

しものほま

下浜の動物の足跡化石

兵庫県美方郡香美町香住区下浜 MAP P.48-⑤



■足跡化石

2003（平成15）年に福井県の高校教諭の調査により発見されました。日本列島がアジア大陸から離れ始めた頃、川か湖のほとりであったこの地にたまった泥の地層にはたくさんの動物の足跡が残りました。足跡化石は平島のほか香住区では栃三田、大イソ、松ナワテの3カ所、村岡区では入江で発見されています。調査結果の詳細は、香美町のホームページに掲載されている「香住町足跡化石調査報告書」に詳しく記載されています。

■平島足跡化石／香住区下浜

当地で発見された動物の足跡化石はツル、サイ、ゾウ、シカの仲間です。現地には案内看板が設置されています。この看板や町で発行されているパンフレットを見ながら散策することができます。海に面しているため、見学に際しては潮位や波に注意しましょう。よく観察できるのは春（5、6月）で、冬は波や潮位が高く、海藻にも覆われるため不向きです。なお、足跡化石の複製（レプリカ）が香美町立ジオパークと海の文化館に展示されています。



ゾウ類の足跡化石



鳥類の足跡化石



サイ類の足跡化石

しものはま りゅうこん 下浜の流痕

兵庫県美方郡香美町香住区下浜 MAP P.48-⑥



流痕とは、水流によって石が川や湖の底にたまった泥を削ってできたすじ状のくぼみです。その上に土砂がたまり、流痕は地層の中に隠れてしましますが、その後隆起して地上に現れると、下側の泥岩の層が落下し、上に残った硬い砂岩や礫岩の層の底面に流痕が残りました。

但馬松島

兵庫県美方郡香美町香住区下浜 MAP P.48-⑦



下浜から三田浜にかけての海岸線には、溶岩が冷え固まってできた縦方向に伸びた割れ目(柱状節理)の美しい「弁天島」「沖の松島」「磯の松島」などが磯に点在し、松で彩られた『但馬松島』の景観を作り出しています。遊覧船のほか、三田浜へ通じる道路から見ることもできます。

まつがさきひやくそうがい 松ヶ崎百層崖

兵庫県美方郡香美町香住区下浜 MAP P.48-⑧



海に突き出た松ヶ崎は、砂岩や泥岩などが無数に重なり合っているため、百層崖と名付けられました。また、断層による地層のずれも見られます。遊覧船からのみ、見るができます。

おかみ 岡見公園

兵庫県美方郡香美町香住区一日市 MAP P.48-⑨

ひとくも

●夏を彩るユウスゲ

岡見公園では、春は桜、夏はユウスゲの群生が見られ、梅檀葉の菩提樹、シイの群生林などがいずれも香美町の天然記念物に指定されています。

ユウスゲはキスゲとも呼ばれるユリ科の多年草で、7月上旬から7月下旬にかけて日没間近の夕方に淡黄色のユリに似た香りの良い花を咲かせます。



岡見公園からの眺望は大変すばらしく、「日本の夕陽百選」に選ばれています。高台には岡見公園のシンボルとして石燈籠が置かれています。この場所は、江戸時代に北前船(廻船)に対する日和見の役割をも担っていました。町の中心部にあるこの公園は、昔、市杵島と呼ばれた島が、矢田川と香住谷川の流れが運んだ土砂(砂州)によって陸続きの半島のようになりました(「陸繋島」といいます)。この周辺は火山灰や溶岩が固まった岩石からなり、公園の西隣にはマグマが入り込んでできた白っぽい岩脈があり、割れ目(柱状節理)の美しい断崖が見られます。

27、余部ジオサイト

リアス海岸とそこを通る鉄道 ～リアス海岸の複雑な地形のため、高い位置に鉄道が通るサイト～

あまるべきようりょう

余部橋梁

兵庫県美方郡香美町香住区余部 MAP P.48-⑩



余部鉄橋は高さ41.5m、長さ309mのトレスル式鉄橋でした。1912（明治45）年から98年間にわたり利用されました。谷をまたぐ鉄橋は、桃観トンネルと合わせて、山陰本線最大の難工事でした。現在はコンクリート橋梁に架け替えられましたが、西側3本の橋脚は展望施設「空の駅」として保存されることとなりました。出入りの激しいリアス海岸の山陰海岸の特徴を象徴する建造物です。

みさき

御崎集落

兵庫県美方郡香美町香住区余部 MAP P.48-⑪



壇ノ浦の戦いに敗れてこの地に辿り着いた^{かどわきさいしょう}門脇宰相平教盛^{のりもり}を大将とする7人の落人が山中から立ち上る1本の炊煙を頼りに険しい崖をよじ登り、そこで出会った修験者に土着を勧められ身を置いたという落人伝説の残る小さな集落です。春にはこの地にしか生えない平家蕪^{かぶら}の黄色い花があちこちで見られます。高台には光源の高さ日本一を誇る余部埼灯台があり、晴れた日には丹後半島まで一望できます。